

第36回(平成29年度)
柏シニア杯争奪

東葛地区親睦少年野球 卒業記念大会

開催期間:平成29年12月3日・10日・23日

優勝 野田南部 Y
準優勝 野田ドンキーズ
第三位 我孫子ブルーシャークス
第四位 ミラクルズ



主催 東葛地区親睦少年野球大会 運営委員会
協賛 柏市・流山市・野田市・松戸市 各少年野球連盟
後援 ダイワマルエス株式会社 柏リトルシニア野球協会
株式会社 共同写真企画 朝日スポーツキッズ

ボールが飛んだ。
こころも弾んだ。

「カキーン！」

その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。



本大会使用球
MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

タイフマルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

タイフボウグループ°

第36回(平成29年度)柏シニア杯争奪 東葛地区親睦少年野球卒業記念大会

目 次

大会優勝旗 & トロフィ (写真)	1
第 36 回柏シニア杯争奪	
東葛地区親睦少年野球卒業記念大会 成績表	2
大会概評	3

思い出のアルバム

ベスト4チーム(写真)	5
大会スナップ写真	7

東葛地区親睦少年野球卒業記念大会歴代ベスト4	16
第 36 回柏シニア杯争奪東葛地区親睦少年野球卒業記念大会 参加チーム	17
東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ	18
東葛地区親睦少年野球大会・大会要項	19
東葛地区親睦少年野球大会・役員名簿(平成28年1月改選)	21
第 36 回東葛地区親睦少年野球卒業記念大会 会計報告	22

* 写真提供：株式会社共同写真企画

大会優勝旗及びトロフィー



第36回 柏シニア杯争奪

東葛地区親睦少年野球 卒業記念大会 成績表

			12月3日	12月10日	12月23日
チーム名					
1	野田南部Y	野田		7	
2	光GT-R	柏		3	
3	南流ファイターズ	流山		3	8
4	Little wings	我孫子		2	
5	ミラクルズ	流山		6	2(1+1)
6	マリンベアーズ	流山		5	1
7	フォーセブン	柏		3	
8	野田ベスト	野田		2	
9	野田ドンキーズ	野田		11	
10	オレンジーズ	我孫子		0	
11	流山レイソル	流山		9	7(1+2+4)
12	SBOXウェスタンス	柏		0	1(1+0)
13	我孫子ブルーシャークス	我孫子		6	
14	野田南部S	野田		3	1(0+0+1)
15	流山ライオンボーイズ	流山		0	3(1+2+0)
16	流山Wings	流山		8	0(0+0+0)



野田南部Y

選手宣誓：野田ドンキーズ



3位決定戦

ミラクルズ	1
我孫子ブルーシャークス	10

同地区対決 野田南部Yがサヨナラで制覇

野田ドンキーズ無念 三位は我孫子ブルーシャークス

第36回柏シニア杯争奪東葛地区親睦卒業記念少年野球大会は、平成29年12月3日（日）を初日に、10日（日）、23日（土）の3日間にわたり、野田市の江戸川河川敷グラウンド及び柏市の柏シニアリーググラウンドに於いて16チームが参加して盛大に開催された。

今年度は、初日の12月3日に柏シニアリーググラウンドで開会式を行った後、1回戦の8試合は野田河川敷グラウンドの4面で行われた。柏シニアリーググラウンドからの移動があったため、各面2試合ずつで、第一試合はAM12:00から同時に開催した。

熱戦を展開した結果、初戦を突破したのは野田南部Y、南流ファイターズ、ミラクルズ、フォーセブン、野田ドンキーズ、流山レイソル、我孫子ブルーシャークス、流山ウイングスの8チームで、流山勢の4チームを筆頭に、野田勢2チーム、柏と我孫子地区が各1チームの割合だった。

このうちフォーセブン vs 野田ベスト戦と、ミラクルズ vs マリンベアーズ戦がそれぞれ1点を争う大接戦となったが、流山レイソル vs SBOXウエスタンズ戦は、SBOXウエスタンズが他の大会と重複して6年生メンバーが出場出来なかったことで棄権したため、流山レイソルの不戦勝（記録は10-0）となった。

ベスト4進出を賭けた二日目の2回戦4試合と準決勝戦の2試合は、2回戦のみ当初の予定が12月9日（土）だったが、雨で中止となったことから、12月10日（日）野田河川敷グラウンドB・C面で準決勝戦も併せて行われた。このうち2回戦の野田南部Y vs 南流ファイターズ戦は3-2で野田南部Yが勝ち上がり、我孫子ブルーシャークス vs 流山ウイングスは0-0の均衡で両軍譲らず、結局7回を終わっても決着がつかなかったことで、タイブレークの特別延長戦となったが、我孫子ブルーシャークスが勝利してベスト4進出を決めた。なお他の2試合はミラクルズがフォーセブンに快勝、野田ドンキーズも流山レイソルに完封勝ちしてベスト4進出を果たした。

決勝戦進出を賭けた準決勝戦の2試合は、2回戦4試合の勝利チームがダブルで野田河川敷C面に於いて行われた。第一試合の野田南部Y vs ミラクルズ戦はパワーに勝る野田南部Yが、ミラクルズを圧倒して余裕で決勝戦進出を決めたが、第二試合の野田ドンキーズ vs 我孫子ブルーシャークス戦は、最後まで勝負が纏れた。1-1の拮抗した展開は最終的に7回終了しても決着つかずタイブレークとなり、両チームとも特別回に2点ずつ取り合った後、特別延長の最終回に野田ドンキーズが一挙4点を奪って我孫子ブルーシャークスを制した。

決勝戦及び三位決定戦は、当初の予定は12月17日（日）だったが、雨のため12月23日（土）に延期され、柏シニアリーググラウンドで開催された。この日は我孫子地区からの出場チームが、同市の選抜チームがPMより公式試合があるため、三位決定戦に出場の我孫子ブルーシャークス vs ミラクルズ戦はAM8:30に開始した。試合は前半互角の展開だったが、中盤以降我孫子ブルーシャークスの打線が大爆発して大差で勝利した。

その後に行われた野田南部 vs 野田ドンキーズの決勝戦は、野田市内のトップを競う強豪チーム同士の対決で、試合内容は1点を争う大接戦で、手に汗握る好試合となった。

試合は初回に両軍1点ずつ取り合った後、7回までは両軍無得点で互角の展開、結局1-1からのタイブレーク試合となった。特別回は先攻の野田ドンキーズが無得点だったのに対して、後

攻の野田南部Yは3番泰泉寺の内野ゴロがバックホームした送球が捕手の落球によって幸運なサヨナラ勝ちとなった。

決勝戦を振り返ると、初回野田ドンキーズは二死無走者から3番芝田の安打・二塁盗塁でチャンスを掴み、次打者佐藤の中飛落球によって幸先き良い先取点を挙げた。これに対して野田南部Yも、その裏先頭打者山崎が四球で出塁した後、盗塁と相手PのWPで三塁に進み、一死後3番泰泉寺の内野ゴロで挙げた得点は見事だった。2回と3回は両チーム投手の好投でともに三者凡退、試合は1点を争う緊迫感溢れる大熱戦となった。4回に両チームとも安打が出てチャンスを掴んだが、この回も両軍投手の頑張りで無得点の展開は、さらに緊迫の度合いが高まった。

そして2番手Pが登板した6回は、野田ドンキーズが二死から2番藤川が安打で出塁したが、決定打が出ず無得点に終れば、野田南部Yも先頭打者松井が内野安打で出塁したが、二塁盗塁失敗で無得点は、これまた互いに譲らずの展開で、結局7回を終わっても決着つかず、遂にタイブレーク試合となった。この結果は、上記した如く野田南部Yがラッキーな得点を挙げてサヨナラ勝ちしたが、最後の得点内容はともかくとして、それまでの試合内容は両軍全くの互角で、手に汗握る痺れる試合内容で、大会の最後を飾るに相応しかった。

ちなみに、優勝した野田南部Yは南部ルーキーズ、中地ベースボールクラブ、西新田子ども会、レッドファイターズ、山崎クーガーズの混成チームで、前年度優勝した野田南部は南部ルーキーズと西新田子ども会、中地ベースボールクラブの3チーム混成だったが、今年度の選手の主力は南部ルーキーズだったことから、実質的には前年度に続く優勝と言える。

最終日の成績は次の通り。

◆三位決定戦 12月23日(祝日) 柏シニアリーググラウンド

我孫子ブルーシャークス	0	0	0	3	7	=	10
ミラクルズ	0	0	0	1	0	=	1

▽審判：球審・加納(大会役員) 塁審・渋谷、小泉、平田(各大会役員)

◆決勝戦 12月23日(祝日) 柏シニアリーググラウンド

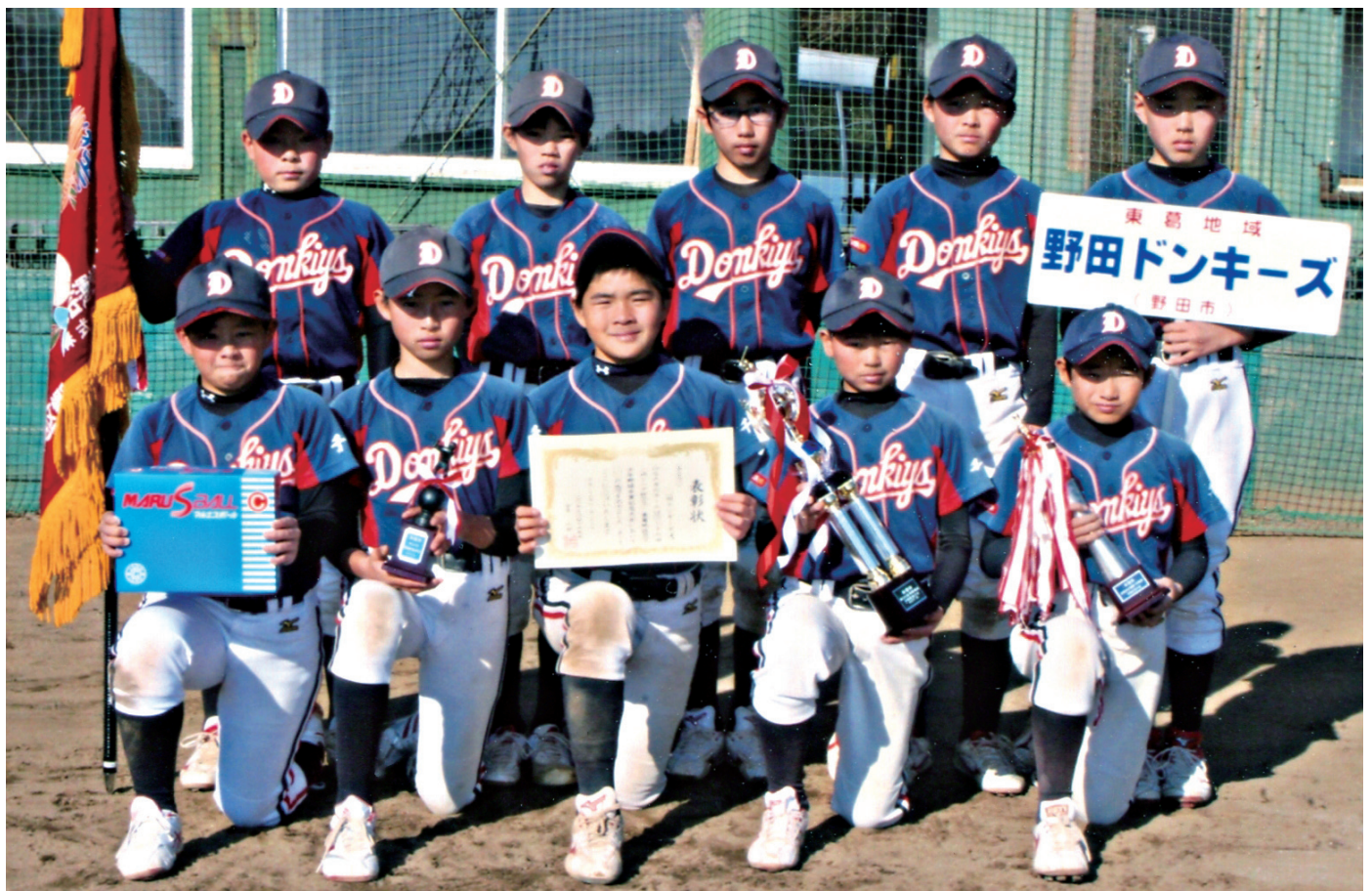
野田ドンキーズ	1	0	0	0	0	0	0	=	1
野田南部Y	1	0	0	0	0	0	①	=	2

▽審判：球審・宮田(柏シニアリーグ) 塁審・木村、梅沢、渡辺(各柏シニアリーグ)





優勝 野田南部Y



準優勝 野田ドンキーズ



第三位 我孫子ブルーシャークス



第四位 ミラクルズ

挨拶する来賓：善積信夫氏（ダイワマルエス東京営業所所長）



山田会長



開会式

平成29年12月3日 於 柏シニアリーググラウンド



整列する参加全チーム



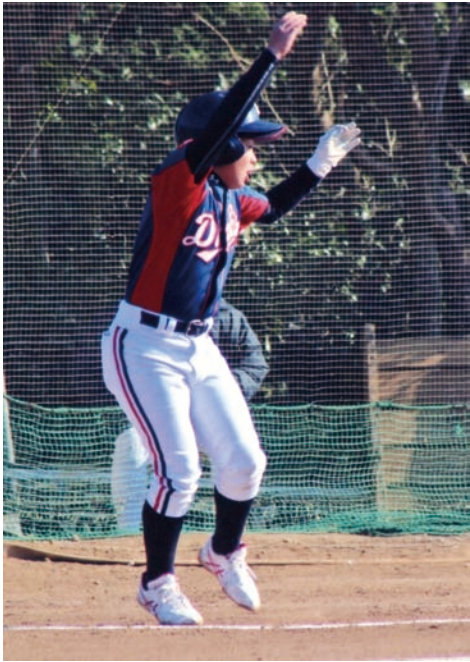
元気に選手宣誓



後援の柏リトルシニアの指導者と山田会長

前年度優勝チームより優勝旗の返還





熱戦



スナップ









受賞

優勝=野田南部Y



平成29年12月23日
於 柏シニアリーググラウンド

ス

ナ

ツ

プ



準優勝 野田ドンキーズ





第3位
我孫子ブルーシャークス



第4位
ミラクルズ

東葛地区親睦少年野球卒業大会 歴代ベスト4

回数	開催年度	出場 チーム数	優 勝	準 優 勝	第三位	第四位
1	1982 昭和57年	32	トライスター (柏)	リトルジャガーズ (我孫子)	伊勢原ジャガーズ (柏)	久寺家エラーズ (我孫子)
2	1983 昭和58年	34	沼南フラワーズ (沼南)	初石クーガーズ (流山)	春日フェニックス (野田)	カージナルス (流山)
3	1984 昭和59年		資料紛失につき不明	資料紛失につき不明	宮園イーグレッツ (流山)	江戸川台アトラス (流山)
4	1985 昭和60年		名戸ヶ谷アトミック	布施リトルジャイアンツ (柏)	資料紛失につき不明	資料紛失につき不明
5	1986 昭和61年	32	高野台ジャガーズ (柏)	布施リトルジャイアンツ (柏)	ドラゴンZ (沼南)	タイタンズ (流山)
6	1987 昭和62年	32	向小金ファイターズ (柏)	四小&柏友 (柏)	西原アローズ (柏)	増尾クラブ (柏)
7	1988 昭和63年	28	増尾クラブ (流山)	千代田ファイターズ (柏)	江戸川台アトラス (流山)	伊勢原ジャガーズ (柏)
8	1989 平成元年	31	流山ミラクルズ (柏)	つくしアトミック (柏)	松葉ニューセラミックス (柏)	清水タイガース (野田)
9	1990 平成2年	27	流山ホークス (流山)	南部小 (鎌ヶ谷)	道野辺ファイターズ (鎌ヶ谷)	レッドファイターズ (野田)
10	1991 平成3年	32	高野台ジャガーズ (流山)	長崎ライオンズ (流山)	ありんこアントス (流山)	沼南フラワーズ (沼南)
11	1992 平成4年	36	ABF (柏)	千代田ファイターズ (柏)	向小金アントス (流山)	リアノス (柏)
12	1993 平成5年	36	西平井パワーズ (柏)	流山ミラクルズA (流山)	流山南部 (流山)	増尾オールスターズ (柏)
13	1994 平成6年	38	中原ツインズ (流山)	新松戸スターズ (松戸)	梅郷パワーズ (柏)	トライスター (柏)
14	1995 平成7年	40	流山レイソル (柏)	ありんこアントス (流山)	南部少年野球クラブ (鎌ヶ谷)	流山ミラクルズ (流山)
15	1996 平成8年	33	光シャークス (流山)	柏ボーイング&トライスター (柏)	流山レイソルA (流山)	小金原ビクトリー (松戸)
16	1997 平成9年	23	清水タイガース (柏)	ダイナマイトツインズ (野田)	スーパースターズA (流山)	サクセス (流山)
17	1998 平成10年	31	柏ボイジャー (野田)	ミラクルズ (流山)	松葉ニューセラミックス (柏)	常盤平メッツ (松戸)
18	1999 平成11年	29	千代田ヤングーズ (柏)	増尾オールスターズ (柏)	清水タイガース (野田)	長崎FLB (流山)
19	2000 平成12年	25	流山レイソル (柏)	ダイナマイトスターズ (野田)	ファイヤーブレーブス (流山)	スーパーシャークス (柏)
20	2001 平成13年	23	ジュニアファイターズ (流山)	千代田ファイターズ (柏)	北柏スーパーナイン (柏)	ダイナマイトスターズ (野田)
21	2002 平成14年	27	ファイヤーブレーブス (流山)	ウルトラジャイアンツ (流山)	花井ヤンキース ※都合により三位決定戦は行われませんでした。 (柏)	柏スーパーエース (柏)
22	2003 平成15年	27	ファイヤーブレーブス (流山)	高野台ファイターズ (柏)	ジュニアファイターズ (柏)	ミラクルズ (流山)
23	2004 平成16年	24	千代田ゴールドドリームス (流山)	ミラクルズ (流山)	柏フォーセブン (柏)	松葉ニューセラミックス (柏)
24	2005 平成17年	26	グレートレイソル (柏)	中松ボンバーズ (我孫子)	流北フレンズ (流山)	千代田ニューセラミックス (柏)
25	2006 平成18年	32	ジュニアファイターズ (流山)	リトルジャガーズ (我孫子)	加岸ベアーズ (流山)	ミラクルズ (流山)
26	2007 平成19年	33	大津ヶ丘ファイターズ (流山)	フォーセブン (柏)	ジュニアファイターズ (流山)	千代田ファイヤーズ (柏)
27	2008 平成20年	30	松葉ニューセラミックス (柏)	南部レッドヤンキース (野田)	八木ジュニアファイターズ (流山)	山崎タイガースA (野田)
28	2009 平成21年	29	N R J (柏)	東深井ファイナルズ (流山)	ジュニアファイターズ (流山)	ブラックホークス (我孫子)
29	2010 平成22年	33	松葉ニューセラミックス (柏)	BLDスターズ (野田)	新富少年野球部 (柏)	我孫子リトルイーグルス (我孫子)
30	2011 平成23年	32	流山マリンベアーズ (流山)	ボンバーズ (我孫子)	高野台ジャガーズ (柏)	松葉ドリームス (柏)

回数	開催年度	出場 チーム数	優 勝	準 優 勝	第 三 位	第 四 位
31	2012 平成24年	28	流山ルーキーズ (流山)	流東ウイングス (流山)	フレンズ (柏)	流山マリンベアーズ (流山)
32	2013 平成25年	27	野田南部Y (野田)	流南キャノン (流山)	SBOX (柏)	流山Fマリニーズ (流山)
33	2014 平成26年	30	加岸ジュニアファイターズ (流山)	ミラクルズ (流山)	シャークスボーイズ (流山) 東部フェニックス (野田)	
34	2015 平成27年	21	フォーセブン (柏)	野田ベスト (野田)	豊上ヤングスターズ (柏)	リトルレジェンス (我孫子)
35	2016 平成28年	18	野田南部 (野田)	ゴッドスピリッツ (我孫子)	ブラックサンダース (我孫子)	流山ルーキーズ (流山)
36	2017 平成29年	16	野田南部Y (野田)	野田ドンキーズ (野田)	我孫子ブルーシャークス (我孫子)	ミラクルズ (流山)

※第33回大会は、日程の都合により三位決定戦は行わず、2チーム同成績となりました。



第36回（柏シニア杯争奪）東葛地区親睦卒業記念大会参加チーム

No	地域	チーム名	単独 合同	構成チーム
1	我孫子	リトルウイングス	合同	ブラックバード・リトルキング・湖北台スパローズ
2	我孫子	オレンジーズ	合同	布佐ジャイアンツ・白山クラブ
3	我孫子	我孫子ブルーシャークス	合同	新木野コンドル・ブラックタイガース・サンスパッツ
4	柏	光GT-R	合同	新柏ツインズ・光インパルス・増尾レッドスターズ・柏南ギャランツ
5	柏	フォーセブン	合同	豊四季イーグルス・若草・四小地区少年野球クラブ・旭町サンライズ
6	柏	SBOXウェスタンズ	合同	北柏スーパーナイン・柏ボーイング・大船コンドルズ・リアノス・伊勢原ジャガーズ
7	野田	野田南部Y	合同	南部ルーキーズ・西新田子ども会・中地ベースボールクラブ・レッドファイターズ・山崎クーガーズ
8	野田	野田南部S	合同	南部ルーキーズ・西新田子ども会・中地ベースボールクラブ・レッドファイターズ・山崎クーガーズ
9	野田	野田ベスト	合同	清水タイガース・野田ロッキーズ・中根ヤンキース・柳沢イーグルス・野田ジャガーズ
10	野田	野田ドンキーズ	単独	
11	流山	南流ファイターズ	合同	南流ファイターズ・鰯ヶ崎ジュニアフィッツ
12	流山	流山レイソル	合同	江戸川台フェニックス・初石クーガース・流山シャークス
13	流山	流山ライオンボーイズ	合同	東深井ボーイズ・小田急ライオンズ
14	流山	ミラクルズ	合同	カージナルス・流山ホークス
15	流山	マリンベアーズ	合同	流山マリニーズ・加岸ベアーズ
16	流山	流東ウイングス	合同	前ヶ崎クラブ・ありんこアントス・向小金ファイターズ・八木南クラブ・長崎FLB

東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ

昭和51年夏に柏市、流山市、沼南町、我孫子市の各少年野球チームが相集い、夏休みの近隣地区親睦少年野球大会として産声を上げる。発足の動機は、出場チームの殆どが各市町の大会では早々と敗退してしまうケースが多く、そのため夏休みの期間を持て余していたことから、流山市の流山バード（後のカージナルス 代表・山田晃一氏）、流山シャークス（代表・松崎日丸夫氏）、柏市の川長コイズ（後のブルーファイン 代表・角谷正一氏）、沼南町の沼南ジャリーズ（代表・相葉藤市氏）などが発起人となって、我孫子市のチームにも呼びかけて14チームで第一回大会を開催。以降、毎年8月中旬の三日間に実施してきた。グラウンドは当時柏市議会議員であった松崎公昭氏（現・株式会社カリフ社長）の協力を得て柏市民球場を使用した。

その後、同球場が土曜日と日曜日の使用が困難となったことに加え、出場チームも近隣から毎年増加の一途を辿って来たため、昭和56年から昭和ゴムが主催しているSG大会と提携して、同社のグラウンドを大会の専用会場とし、開催期間も毎年8月中旬の日曜日と最終土曜日、日曜日の三日間に変更された。

ちなみに、当大会はそれまで発足当初より長瀬ゴム工業（健康ボール）及び読売新聞柏専売店をメインに、柏そごうほかのスポット後援があったが、昭和59年の躍進記念大会（出場は61チームで二分割制で開催）を機に後援団体の集約化が検討され、昭和60年から後援を昭和ゴムに一本化された。

この間昭和57年に鎌ヶ谷市と野田市、市川市からの出場があり、60年には出場チームの総数が62に達した。また、59年の躍進記念大会には、埼玉県越谷市、茨城県取手市、東京葛飾区などからの特別参加チームもあり、規模の拡大をみるとともに大会は益々隆盛を極めた。しかし、ここ数年は大会の運営上の問題と、出場チームの地理的条件、地域事情（同期間に大会が重複）などが原因で、近隣地区からの出場チームが減少して総数30チーム前後に定着して来た。

大会の発展にともない、平成2年には創立15周年記念パーティー（会場は昭和ゴム）も開催したが、この年に松戸市からの正式な出場も加わり、さらに平成14年には埼玉県三郷市からも出場があった。

なお、当大会は出場チーム及び同関係者の自発的協力により役員組織（運営委員会）を構成、運営しているプライベート大会で、各市町教育委員会ほか公共団体の支援は受けてないが、日頃から少年野球に対して深い理解のある一部企業などには、後援として協力を仰いでいる。

運営面については、当大会の発起人でもある山田晃一氏が中心となって、発足当初より歴代役員が一貫して実務を担当しているが、近年は各市町の少年野球連盟役員も自発的にこれを支えて、さらに体制が確立されてきた。会長は、昭和51年から54年までは角谷正一氏（上記及び割烹川長社長）、55年から57年までは鈴木 昭氏（我孫子ナマコン社長・非常勤）、58年から61年までは相馬義明氏（元沼南町少年野球連盟会長）がそれぞれ歴任し、62年から山田晃一氏が就任して現在に至っている。

毎年12月に開催している冬季大会は、平成57年に卒業記念大会として6年生だけ（チームの編成は他チームとの混成も可）が出場する大会で近年定着している。

平成10年から一時日本マクドナルド東葛地区各店の後援（後に辞退）があり、大会開催時に写真撮影などに常時協力してくれていた共同写真企画も、平成14年から正式に後援に加わった。さらに平成16年から朝日スポーツキッズも後援に加わり、同年から冬季大会のみ柏リトルシニア野球協会も協賛に加わって、以降冬季大会だけは頭に「柏シニア杯争奪」を呼称することとなった。なお、昭和60年から大会使用球で後援してくれていた昭和ゴム（SGボール）は、ボールの生産を中止したため、平成18年から新たにダイワマルエス（マルエスボール）が代わって大会の正式な使用球となった。

東葛地区親睦少年野球大会・大会要項

平成11年10月改正
平成24年一部改定

- 大会名 夏季大会：東葛地区親睦少年野球夏季大会
冬季大会：東葛地区親睦少年野球卒業記念大会
- 主催・主管 東葛地区親睦少年野球大会運営委員会
- 後援 ダイワマルエス株式会社
柏リトルシニア野球協会（但し、冬季大会のみ）
朝日スポーツキッズ 株式会社 共同写真企画
- 開催期間 夏季大会：毎年8月中旬を初日とする三日間で開催する
但し、雨天などで中止となった場合は、予備日を設け行う。
冬季大会：毎年12月の第一週を初日として開催する。
但し、雨天などで順延になった場合は予備日を設け行う。
- 目的 東葛地区各市町の親睦を図ることを主な目的として、交流を通じて青少年の健全育成に注力する。
- 出場資格 夏季大会：単独チームで3年生から6年生までの編成によるAチームのみ。
但し、メンバー多数で2チーム出場希望の場合は、役員会に図り承認され場合に限り認められる。
冬季大会：メンバーは全て6年生のみとし、単独チームが編成できない場合には5チームまでの混成が認められる。
メンバーが多数の場合は2チームの出場も認められる。なお、出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督、コーチ、選手のユニホーム・背番号も統一しなくても良い。
- 参加チーム 夏季大会は原則として限度64チームまでとする。出場枠は各市町の割り当てを別途に定める。なお、各市町ごとに交流している各地区チームの出場も認めるが、この場合は当該市町の出場枠を越えてはならない。新規参加市町の出場枠は役員会で決定する。
- 参加会費 原則として、1チーム5,000円。（但し、特別処置として変更する場合がある。）
- 使用グラウンド 江戸川河川敷グラウンド(野田市及び流山市)、その他各チームから提供されたグラウンド。
- 審判当番 ①出場チームは理由の如何を問わず、必ず審判当番を行う。
不履行の場合はペナルティ（失格・次回からの出場停止・その他）が課せられる。
②当番審判員の服装は、審判服又は、当該チームのユニホーム及びトレーニングウェアとし、短パン(夏季)、サンダル履きは厳禁。帽子は必ず着用すること。
★審判当番者は試合開始に際して、必ずグラウンド整備（準備）をする。なお、当該試合チームもこれに協力することを義務付ける。
③大会初日、二日目の審判は当該チームが行い、最終日は原則として役員が務める。但し、役員が不足した場合は、試合のないチームの協力を仰ぐ場合がある。
④審判当番チームは、必ず審判道具を持参すること。
⑤審判当番は各チームとも原則として2名とし、ローテーションは以下の通りとする。
a.一日一面で4試合が行われる場合。
第一試合の審判は第二試合のチーム、第二試合の審判は第一試合のチームが担当する。第三試合及び第四試合の審判もこれに準ずる。
b.一日一面で4試合の場合第三試合・第四試合にシードチームが入った場合)。
第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが、第三試合は第一試合の負けチームと第四試合のシードチームが、第四試合は第二試合の負けチームと第三試合のシードチームが行う。
c.一日一面で3試合の場合(同じ条件の組み合わせ)。殆どが初日の試合
第一試合の審判は第三試合のチーム、第二試合は第一試合のチーム、第三試合は第二試合のチームがそれぞれ行う。
d.一日一面で3試合の場合(勝利チームがダブルヘッダーの場合)。大会二日目
第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが、第三試合については第一試合・第二試合の負けチームが行う。
(通称:負け残り審判)。
e.その他組み合わせが変則となった場合大会本部役員で協議し、別途指示する。

⑥審判当番者は、試合終了後必ずスコアカード(記録用紙)に、得点経過・審判氏名(フルネーム・チーム名)の記入を義務付ける。

◇最終試合の審判はスコアカード記入後、グラウンド責任者に提出する。グラウンド責任者は速やかに事務局に報告してください。

大会規定 最新年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟「少年野球に関する事項」及び以下の特別規定(含むグラウンドルール)を適用する。

①全試合7イニング制とする。(但し、時間・コールドゲームを適用する。)

②試合時間はシートノックを除き1時間30分。それ以上経過して同点の場合は特別延長ルール(1死満塁、前回最終打者の次打者より攻撃)を適用する。なお、シートノックは各チーム5分以内とする。

③コールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差で成立する。

但し、決勝戦のみコールドゲームの適用はしないが、時間は適用する。

なお、時間に達しても同点の場合は特別延長ルールを適用する。

④試合が7回終了して時間があっても延長戦は行わず、特別延長ルールを適用する。

7回を終了しなくても、時間に達した場合も同様とする。

⑤その他、グラウンドルールは当該グラウンドの特別ルールを適用する。

⑥ベンチは若番が1塁側とし、先攻、後攻はジャンケンで決める。

⑦大会使用球は、マルエスボールC号。

(投手の投球回数を一試合5イニング(15アウト)までとし、一日10イニング(30アウト)までとする。)

◆冬季大会<卒業記念大会>特別規則 [六年生大会]

試合の勝ち負けよりも、六年生の選手をできるだけ試合に参加させて下さい。

指名代打(DH)2名を必ず加え、攻撃は11名で行うことを義務付ける。

指名代打は守備に付ける事はできるが、ベンチに下がった選手は再び出場することはできない。メンバーが9名しかない時はDH制の適用を除外する。

◆卒業記念大会に出場するチームの監督は、事務局が用意したリボン付ける事を義務づける。リボンがない場合は監督と認めない。ゆえに抗議権等認めない。

表彰 優勝・準優勝・第三位・第四位の団体表彰のみ。個人賞は原則としてなし。

補足事項 1.服装は選手及び指導者(ベンチ入りコーチ3名)のユニホーム着用を義務付ける。

但し、代表者、スコアラーはこの限りではない。選手と指導者のユニホームには必ず背番号をつけ、主将は10番、監督は30番、コーチは28番と29番とする。

但し、冬季大会はこの限りではない。なお、ベンチ入り出来る指導者は5名までとする。

2.選手及び指導者は必ず帽子の着用を義務付ける。金属のついたスパイクは禁止。

ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナー・コーチャーともに着用する。

捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。

3.冬季大会については、審判及び役員が認めた場合に限りジャンパー、グラウンドコート着用でのプレーが許される。

4.応援者の汚いヤジや言動に対しては、当該審判員及び役員(試合当事者でも可)は直ちに注意を促し、改まらない場合は当該審判員及び役員は退場させる権限を持つ。

5.夏季・冬季期間の大会であるので、当該チームは選手の健康管理に十分に気を配ること。

(ベンチ入り指導者5名以外に、女性の介護員1~2名ベンチに入って、給水などの世話をすることができる。)

※試合中の病気やケガについては、当該チームで応急処置・対処すること。

6.開会式・閉会式には、各チームでプラカード・団旗(規格は特に定めない)を持参すること。

7.入場式では、出場チームの指導者1名(ユニホーム着用)は必ず最後尾に参列する。

8.抽選会などにおけるチーム登録については、正式チーム名・連絡責任者・監督の住所・氏名(フルネーム)・電話番号・携帯番号(持っている人は)を必ず届け出ること。代理抽選の場合も同様とする。

9.シートノック・試合前の練習の際も、捕手は必ず防具を付けること。捕手の控え選手も必ず防具を着用すること。

10.グラウンド提供及び用具の提供を各チームにお願い致します。

(バックネットセット・ベース・ピッチャープレート・メジャー・ラインカー・石灰・トンボ・得点板・チョーク)。

東葛地区親睦少年野球大会役員（H28/1 改選）

会 長	山 田 晃 一	柏流さよなら、カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会会長
副 会 長	青 木 誠	野田市少年野球連盟会長
〃	金 丸 正 孝	元柏市少年野球連盟会長
〃	平 田 宗 久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務		
運営副委員長	加 納 貞 夫	野田市少年野球連盟役員
審判部副部長兼務		
事業部長(事務局総括)	小 泉 博 康	流山市少年野球連盟役員
事業部副部長	大 割 健 夫	柏市少年野球連盟役員
審判部部長	藤 井 豊 務	柏市少年野球連盟役員
審判部副部長	松 本 秀 樹	流山市・江戸川台フェニックス
〃	* 川 口 裕 司	松戸市少年野球連盟役員
運 営 委 員 (事業部担当)		
〃	豊 田 穰	流山市少年野球連盟役員
〃	柴 田 清 光	松戸市少年野球連盟役員
〃	鈴 木 三 郎	柏市少年野球連盟役員
〃	* 八 鍬 昌 次	流山市少年野球連盟役員
〃 ・ 監査役兼務	今 野 正 博	野田市少年野球連盟役員
運 営 委 員 (審判部担当)		
〃	渋 谷 重 雄	流山市少年野球連盟役員
〃	西ヶ迫 勝 宏	流山市少年野球連盟役員
〃	梅 田 敦 司	流山市少年野球連盟役員
〃	堀 江 速 人	野田市少年野球連盟役員
〃	岡 野 誉	野田市少年野球連盟役員
〃	湯 本 秀 次	野田市少年野球連盟役員
〃	内 田 欽 也	野田市少年野球連盟役員
〃	八木澤 巖	柏市少年野球連盟役員
〃	吉 田 繁	柏市少年野球連盟役員
〃	濱 田 健	柏市・松葉ニューセラミックス
〃	桑 名 裕 介	松戸市少年野球連盟役員
〃	居 倉 諭	松戸市少年野球連盟役員
〃	吉 岡 貴 明	松戸市少年野球連盟役員
顧 問	善 積 信 夫	ダイワマルエス(株)東京営業所長

(注) *印は非常勤

第36回 東葛地区親睦少年野球卒業季大会 会計報告

◆収入の部			合計	¥140,803	◆支出の部			合計	¥161,897
大会参加費	@5000×16チーム	¥80,000			*大会運営費		¥21,600		
柏リトルシニア		¥50,000			抽選会会場費 (柏流さよなら大会と同時開催)		0		
ボール販売手数料		¥3,000			参加賞用ボール代		¥21,600		
共同写真企画(冊子広告料)		¥10,000			*賞状・トロフィー代		¥58,297		
第35回繰越金		▲¥2,197			賞状		¥10,000		
					トロフィー代		¥21,546		
					シニア杯レプリカ		¥26,751		
					*資料代		¥50,000		
					冊子データ作成費		¥50,000		
■寄贈品	ダイワマルエス(株) (ボール4ダース)				*事務局経費		¥20,000		
					資料コピー代ほか		¥20,000		
					*審判員昼食代		¥12,000		
					12/3・9・10・23		¥12,000		

収入 ¥140,803円 - 支出 ¥161,897円 = 収支合計 ¥21,094円は第37回大会に繰り越します。

平成29年12月25日 会計担当 平田 宗久

平成29年12月25日平田会計担当から提示されました、平成29年度会計帳簿および収支決算書につきまして、帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、会計基準に則り適正に処理されているものと認めます。平成29年12月25日

会計監査担当

今野 正博



Forever Glory Days!

嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！



全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7 (軟式野球会館) ☎03-5474-0741

◆本 社：TEL06-6453-5981 ◆中部支店：TEL052-783-0825

◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741 ◆九州支店：TEL092-474-8621

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!取材力を生かしたオールカラー、迫力満点の紙面で紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。インタビューなどの読み物や、大会情報も充実しています。大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版どうぞ!

●松戸 ●柏 ●我孫子 ●野田
●流山 ●鎌ヶ谷 ●白井 ●印西

ASA

子どもスポーツ新聞



朝日スポーツキッズ

THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19 吉野ビル3F TEL:04-7143-4021 FAX:04-7143-3453

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
(一人あたり2,500円から7,000円)

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
(一人あたり3,500円から)

●NER企画のスタンス●

- 1,写真を見て喜んでいただける人が
いる写真を撮るように心がけます。
- 2,一枚の写真の中で主役は一人!
- 3,子供たちの表情を重視します!
- 4,徹底したコストダウンを図り、良質
な写真を安価な値段で提供します!

NER企画

スポーツ少年団・
イベント・
その他撮影承ります。

〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3300-10

お問い合わせは
TEL&FAX

04-7197-0115

目指せ！
全国制覇！



柏リトルシニア 新入部員大募集！！

体験入部 随時受付中！



高校野球で活躍できる
選手の育成を目指しています！！

H24年度
第40回 日本リトルシニア野球選手権 全国大会出場

H22年度
第16回 リトルシニア全国選抜野球大会 全国大会出場

詳しくはHPから！

柏リトルシニア

検索



お問合せ

柏リトルシニア野球協会
事務局長 五十嵐 080-1172-6862